

教育委員会会議録（8月定例会）

日 時

平成25年8月29日（木）
午後3時00分から午後4時30分まで

場 所

教育プラザ ギャラリーB室

出席委員

委員長	花田 和郎
委員長職務代行者	伊藤 吾子
委 員	森嶋 鎮一郎
委 員	上村 由美
教育長	中山 俊恵

委員以外の出席者

教育部長	作間 忍
総務課長	窪田 康徳
学校施設課長	関根 博之
学務課長	大友 正徳
学務課課長	矢板 恭介
生涯学習課長	齋藤 淳
スポーツ振興課長	住谷 玲
新体育館建設課長	千葉 忠好
指導課長	内山 信弘
郷土博物館課長	村田 和雄
記念図書館長	大竹 勉
教育研究所長	大沢 靖司
視聴覚センター所長	鈴木 士郎
宮田調理場長	鈴木 伸之
企画員	松永 朗
総務課副参事(兼)庶務係長	川崎 浩行
総務課課長補佐(兼)計画財務係長	滑川 達也
総務課主幹	鈴木 由紀恵
総務課主事	宇佐美 亮

議 事

1 報 告

報告第 8 号 教育委員会 7 月定例会の会議録について

2 議 案

議案第 3 5 号 平成 2 5 年度教育委員会 9 月補正予算の提案について

議案第 3 6 号 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果
に関する報告書の提案について

議案第 3 7 号 河原子小学校校舎耐震補強工事の請負契約の締結について

議案第 3 8 号 宮田小学校校舎耐震補強工事の請負契約の締結について

議案第 3 9 号 日立市立図書館協議会委員の任命について

議案第 4 0 号 日立市視聴覚センター運営委員会委員の委嘱について

3 その他

(1) 学校施設（校舎）耐震化推進事業について

(2) 学校施設非構造部材の耐震対策について

(3) 諏訪小学校校舎改築事業について

(4) 除染の進捗状況について

(5) 学校プール開放事業の実施結果について

(6) 地元企業による中学生対象のスポーツ講習会開催結果について

(7) 全国・関東中学校大会等への出場者について

(8) その他

(9) 次回の教育委員会の日程について

会 議 の 概 要

1 開 会

午後3時00分

委 員 長

それでは、定刻となりましたので、只今から8月の教育委員会定例会を開催します。

今月の定例会の傍聴希望者はありません。

2 報 告

報 告 第 8 号

教育委員会7月定例会の会議録について

委 員 長

報告第8号について、御意見を伺います。いかがでしょうか。

全 委 員

特にありません。

(本件については原案どおり承認されました。)

3 議 事

議 案 第 3 5 号

平成25年度教育委員会9月補正予算の提案について

委 員 長

それでは次に議事に移ります。

議案第35号について、総務課長から説明をお願いします。

総 務 課 長

平成25年度教育委員会9月補正予算について、提案します。

歳入歳出予算は、歳入を410,775千円、歳出を761,490千円計上したものです。今回の補正は、国の緊急経済対策の一つである、地域の元気臨時交付金が示されたことに伴い、計上したものがいくつかあります。

内訳についてですが、まず、教育指導費のうち、教育振興経費51千円については、還暦を祝う会からの寄付金を、未来をひらく子ども教育基金に積立てるため、計上するものです。

次に、特別支援学校費です。就学・通学援助経費55,950千円については、元気臨時交付金を活用し、スクールバス3台を更新するため、計上するものです。施設整備事業費49,189千円についても、元気臨時交付金を活用し、特別支援学校の外壁改修工事を行うため、計上するものです。緊急雇用創出事業費1,500千円については、県の緊急雇用創出事業を活用し、樹木の剪定及び支障木の伐採等を

行うため、計上するものです。

次に、教育研究所費のうち、こども発達相談センター事業費 163 千円については、県の安心こども基金の児童虐待防止対策緊急強化事業を活用し、教育相談用備品を購入するため、計上するものです。

次に小学校管理費です。施設整備事業費 28,142 千円については、元気臨時交付金を活用する、塙山小学校及び楡形小学校のプール改修工事の費用 14,000 千円と、文部科学省の委託事業「公立学校の屋内運動場等の天井等落下防止対策加速化事業」に採択されたことに伴う屋内運動場天井落下防止対策工事である、非構造部材耐震対策工事の費用 14,000 千円を計上するものです。緊急雇用創出事業費 6,000 千円については、特別支援学校費と同様に、県の緊急雇用創出事業を活用し、樹木の剪定及び支障木の伐採等を行うため、計上するものです。油繩子小学校校舎大規模改造事業費 434,153 千円については、油繩子小学校校舎改築工事を行うため、計上するものです。

次に、小学校建設費のうち、諏訪小学校校舎改築事業費 1,442 千円については、諏訪小学校の改築にあたり、設計プロポーザルを行うため、計上するものです。

次に中学校管理費です。施設整備事業費 49,425 千円については、元気臨時交付金を活用する、久慈中学校屋上防水改修工事の費用 21,000 千円と、台原中、滑川中、駒王中及び坂本中のプール改修工事の費用 28,000 千円を計上するものです。緊急雇用創出事業費 3,348 千円については、特別支援学校費及び小学校管理費と同様に、県の緊急雇用創出事業を活用し、樹木の剪定及び支障木の伐採等を行うため、計上するものです。

次に、幼稚園費のうち、認定こども園整備事業費 62,290 千円については、認定こども園の整備に伴い、老朽化が著しい宮田幼稚園園舎を、みやた保育園敷地内に建設するため、計上するものです。

次に、学校給食共同調理場費のうち、施設整備事業費 29,837 千円については、元気臨時交付金を活用し、宮田調理場のボイラー改修工事を行うため、計上するものです。

次に、体育施設費のうち、社会体育施設維持補修経費 40,000 千円については、東日本大震災の余震により、じゅうおう市民プールの配管が破損したことに伴い、配管改修工事を行うため、計上するものです。

継続費の変更については、10 款教育費、6 項保健体育費、運動公園新中央体育館建設事業について、総額 3,560,000 千円を、820,000 千円増額し、4,380,000 千円とするものです。

繰越明許費の追加については、10 款教育費のうち、2 項小学校費、3 項中学校費について、それぞれ、年度内に竣工ができないことが明らかであるため、計上したものです。

内訳についてですが、まず、小学校費のうち、耐震化推進事業費 723,548 千円については、田尻小学校、埴山小学校、楡形小学校分を追加計上するものです。油縄子小学校校舎大規模改造事業費 433,360 千円については、先程、歳出で計上したものになります。また、水木小学校校舎改築事業費 129,285 千円を追加計上します。

次に、中学校費のうち、耐震化推進事業費 809,428 千円については、久慈中学校、多賀中学校、坂本中学校分を追加計上するものです。また、助川中学校校舎大規模改造事業費 97,783 千円を追加計上します。

地方債の追加については、油縄子小学校校舎大規模改造事業費 91,200 千円を、先程、歳出で計上したものの財源の一部として、計上するものです。

委 員 耐震化関係についての金額が大きいです。先日、耐震診断を偽装した業者のニュースを見て、そういう業者もあるんだなと思いました。

学校施設課長 当市では、チェック体制として、建築関係を専門としたスタッフがそろっている営繕課を通して、発注することとしていまして、営繕課と設計事務所の間で、協議・調整を行っています。

また、設計事務所には、診断の結果が適正であるかなどを審査・判定している耐震判定委員会という機関にチェックを受けてもらい、この審査の結果に応じて、いろいろと課題が出てきますので、その対応について、市と事務所が再度協議をするということがあります。

これらの体制により、不正をするということは、なかなかできないと思いますので、ご安心ください。

委 員 事業を進めていて、工事が終わってからそういうことが見つかったら大変ですからね。耐震偽装が、他の県ではなく、茨城県内であったということに驚きましたが、日立市では、そういう心配がないということですので、安心して事業を進めていただければと思います。

(本件については原案どおり可決されました。)

議 案 第 3 6 号 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果に関する報告書の提案について

委 員 長 次に、議案第 3 6 号について、総務課長から説明をお願いします。

総務課長 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条第1項の規定に基づき、教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果に関する報告書を議会に提出するため、提案するものです。

この点検及び評価については、平成19年度の事務から実施し、今回で6回目となります。今回は、平成24年度に実施した主な事業から、19の事業を抽出し、対象としたものです。

報告書については、6月の教育委員協議会で意見をいただいた後、改めて、日立市教育行政点検評価委員との意見交換会を実施し、最終的な報告書として取りまとめ、提案するものです。

点検評価委員の主な意見としまして、まず江尻桂子委員からは、表現力の向上、現場を含めた特別支援教育のあり方、学力や学校公開日などの情報公開などについて、御意見をいただきました。

小寺寿一委員からは、特別支援を含む教職員の指導力向上、「いいところ発見夢づくり推進事業」や「アートいっぱい夢いっぱい事業」などの推進、防災教育の充実、携帯電話の適切な利用などについて、御意見をいただきました。

田所英子委員からは、確かな学力育成推進事業、保護者の負担軽減事業、生活指導員・介助員の配置事業、元気な子ども育成推進事業について評価をいただきました。また、教育相談事業として、不登校児童の対応に対する、教師、児童生徒、保護者の信頼関係の重要性について、御意見をいただきました。

委員 学校の公開日について意見がありましたが、実際には、公開日をどのように周知しているのですか。

委員 市内のすべての学校の公開日を、さらに分かりやすく、広く周知したほうがいいのでは、ということですか。

委員 安全面の心配もあるので、どういう方法で、どの範囲まで公開するのがいいのかなと思います。

委員 公開日については、コミュニティを通じて学区内に案内があると思ったのですが、どのような仕組みになっているのでしょうか。

指導課長 学校公開日については、各学校で作成する学校だよりも、日程が記載されています。学校だよりは、毎月、交流センターに依頼して、各学区内に配布されています。

委員 実際に学校に来るのは、その学校の生徒の父兄が圧倒的に多いと

思いますし、私はそれで構わないと思います。

学校は閉塞感がありますので、公開日が定期的にあることは、父兄にとってはいいのかなと思います。

委員 学校公開日は、学校を理解していただくためにも、その学区の住民に周知する必要があると感じます。また、関心を持って学校に来る方は、地域でよく子ども見ている方だと思いますので、ぜひ、多くの方に学校に来ていただいたほうがいいのかなと思います。

委員 学校と地域が一体となって、と言いますが、実際には学校というところは、地域の方々からすれば、敷居が高く、入りづらいところだと思います。自分の子どもや孫がいれば入りやすいですが、身内がない方にとっては、入りづらいというのが実情ではないでしょうか。

ただ、今の時代、防災面を考えると、地域の方々がもう少し学校になじめないと、困ることがあると思います。そういう意味で、子どもたちの授業を見るというよりも、学校自体に足を運べるような状況を作っておかないと、いざという時に、学校がなかなか機能しないのではないかという気がします。

学校公開については、今後、もう少しみんなで意見を出し合って、考えていく必要があるのではないかと思います。

委員 学校公開が、何を目的とするかですね。

私としては、学校はやはり子どもが主役だと思いますので、子どもたちを地域で育てるという意味では、非常によいことだと思います。ただ、誰でも入れるという状況は、少し怖いなと感じます。

委員 現在、通常は学校の門扉は閉まっています。いつでも入れるという状況ではない中で、公開日のときは、門を開けますよということなのでしょう。

いろいろな観点から、学校長などとも話し合っただけならばと思います。もしかしたら、教育委員会の中だけの話では、難しいのかもしれない。

総務課長 江尻委員からは、学校に閉塞感を持たせるべきではなく、常に評価されている、見られているという状況にすることが、学校の向上につながっていくのだろうという御意見をいただきました。

やはり、何の目的で、誰に周知をするのか、また、公開をしていく方策について、議論を深めていく必要があると思います。

委員 点検評価委員の皆さんからは、いいところについてのご意見もた

くさんいただいていますので、ぜひ、そういったところも発信して
いけたらいいのかなと思います。

教 育 長 点検評価は、事業ごとに行うものではありませんが、それと合わせて、日立市の教育全体としてはどうなのかという評価をして、その結果、今後の課題を、教育全体としてどういうふうに捉えていくのか、それらをまとめたものが必要だということを、点検評価委員の方々と意見交換を行ってきた中で感じました。

点検評価については、毎年、事業を絞ったり、強弱をつけたり、評価成果と課題が明確になるようになどの工夫をしながら行ってきましたが、来年度以降は、全体としてこういったことに取り組んでいこうということが見えるような形の評価についても、考えていきたいと思っています。

この事業は、法律で決まっているものではありませんが、制度を利用して、日立の教育がさらに向上していくためのもののひとつにできればいいと思います。

委 員 学校が以前から課題として取り組んできたものがあっても、一般市民には見えづらいところもあると思います。来年度は、取り組んでいることが形として見えるようにしていただければと思います。

点検評価委員の皆さんからの御意見、御指摘を生かせるよう、工夫して行ってください。

(本件については原案どおり可決されました。)

議 案 第 3 7 号 河原子小学校校舎耐震補強工事の請負契約の締結について

議 案 第 3 8 号 宮田小学校校舎耐震補強工事の請負契約の締結について

委 員 長 次に、議案第37号及び議案第38号について、学校施設課長から説明をお願いします。

学校施設課長 まず、議案第37号、河原子小学校校舎耐震補強工事の請負契約の締結についてです。

工事の名称は、河原子小学校校舎耐震補強工事です。

工事の概要は、耐震補強工事一式です。

契約金額は、173,250千円です。

契約の相手方は、秋山・多賀土木特定建設工事共同企業体です。

完成の期限は、平成26年3月31日です。

契約の方法は、一般競争入札です。

主な補強工法は、パラレルユニットフレーム構法です。これは、

既存建物の外構面に、基礎梁と補強する柱を既存建物と一体化するよう新設し、鋼棒を斜めに配置して緊張させることで、耐震性を高める工法です。

この工法を選定した理由として、学校に子どもたちが居ながら施工できることを前提に、工期短縮、騒音・振動の軽減、経済性などの観点から総合的に判断し、採用しました。

補強は、普通教室棟、管理・普通教室棟、それから、その二つの棟を結ぶ渡り廊下が対象となります。

次に、議案第38号、宮田小学校校舎耐震補強工事の請負契約の締結についてです。

工事の名称は、宮田小学校校舎耐震補強工事です。

工事の概要は、耐震補強工事一式です。

契約金額は、177,450千円です。

契約の相手方は、日立土木・藤和特定建設工事共同企業体です。

完成の期限は、平成26年3月31日です。

契約の方法は、一般競争入札です。

主な補強工法は、河原子小学校と同じ、パラレルユニットフレーム構法です。

補強は、全校舎が対象となります。

委員 今工事を行っている仲町小学校や、助川小学校とは、工法が違うのですか。

学校施設課長 助川小学校は、壁の外側にクロス型のフレームを取り付けて補強するピタコラム工法を、仲町小学校は、壁の外側にロの字型のフレームを取り付けて補強するアウトフレーム工法を、それぞれ採用しています。

これらに対し、今回のパラレルユニットフレーム構法は、ロの字型のフレームの中に、細い鋼鉄の線をクロス型に取り付ける方法です。

委員 パラレルユニットフレーム構法のほうが、安かったり早かったりするのですか。

学校施設課長 いろいろな工法がありますが、どの方法を採用するかは、それぞれの耐震診断の結果や、設計内容、工期などによって判断します。

例えば、仲町小学校では、広い空間を必要とする特別教室が1階にあるので、中に壁を作ることができません。そのため、奥行き方向の補強をするために、ロの字型のフレームで補強するアウトフレーム工法を採用しました。

それぞれの学校の状況に応じて、工法を選択していると御理解いただければと思います。

なお、今回の工事は、来年の3月までに補強を完成させないといけないという条件がありました。今回この工法を採用した一番の大きな理由としては、ピタコラム工法やアウトフレーム工法では、その期間内に終わらせることができませんが、パラレルユニットフレーム構法であれば、期間内に終わらせることができるということがあります。

委 員 工期が短いというのが利点なのですか。

学校施設課長 はい。工場でフレームを製作して、それを学校に運び、設置しますので、工期は短くなります。

(本件については原案どおり可決されました。)

議 案 第 3 9 号 日立市立図書館協議会委員の任命について

委 員 長 次に、議案第39号について、記念図書館長から説明をお願いします。

記念図書館長 日立市立図書館協議会委員は、平成25年8月31日をもって任期満了となるので、新たに委員を任命するものです。

任期は、平成25年9月1日から平成27年8月31日までです。

1名の委員を新たに任命し、8名の委員を引き続き任命します。

(本件については原案どおり可決されました。)

議 案 第 4 0 号 日立市視聴覚センター運営委員会委員の委嘱について

委 員 長 次に、議案第40号について、視聴覚センター所長から説明をお願いします。

**視 聴 覚
センター所長** 日立市視聴覚センター運営委員会委員は、平成25年8月31日をもって任期満了となるので、新たに委員を委嘱するものです。

任期は、平成25年9月1日から平成27年8月31日までです。

2名の委員を新たに委嘱し、11名の委員を引き続き委嘱します。

(本件については原案どおり可決されました。)

4 そ の 他

(1) 学校施設(校舎)耐震化推進事業について

委員 長 続きますて、その他に移らせていただきます。
 その他(1)について、学校施設課長から説明をお願いします。

学校施設課長 学校施設(校舎)耐震化推進事業について、説明します。
 まず、耐震補強工事の進捗状況です。
 3期に分けて進めている耐震補強工事のうち、1期については、助川小学校が今年4月に完了し、現在、残りの7校の工事を進めているところでは。
 2期9校については、今年9月末に着工、翌年3月の完了を予定していましたが、そのうち3校を2期Bとして、3校を2期Cとして、それぞれ工事時期を変更しました。
 その理由として、2期Bの3校については、補強設計の結果、今年度末に工事が終わらないことが明らかであるため、2期Cの3校については、工期が、高校受験シーズンに重ならないようにするためです。
 3期8校については、騒音等の対策として、学校の夏休み期間中に集中して工事を行うため、工事時期を早める3校を3期Aとし、その外の5校を3期Bとします。
 次に、2期A3校の耐震補強設計の概要です。
 宮田小学校、河原子小学校については、先ほど議案で説明したとおりとなります。
 中小路小学校については、建物外部の補強が必要ないことから、主に建物内部の補強として、コンクリート壁の増設や、コンクリートブロック壁の軽量化などを実施します。
 なお、参考としまして、平成25年8月7日に文部科学省が公表した学校施設の耐震化率をお示しします。
 まず、平成24年4月1日時点では、日立市が46.7%、茨城県が70.5%、全国が84.8%となります。
 次に、平成25年4月1日時点では、日立市が55.7%、茨城県が77.4%、全国が88.9%となります。

委 員 今年の日立市の耐震化率は、55.7%になるのですね。

学校施設課長 日立市では、昨年度、耐震補強工事が完了した学校はありません

が、補強対象となっている25校について、耐震診断を行ったところ、一部の校舎等において耐震性があることが確認され、工事の必要がないことが分かりましたので、平成25年度の耐震化率が向上しています。

委員 日立市の耐震化率は、茨城県よりも20%以上下回っていますね。

学校施設課長 日立市の学校施設は、昭和40年代に造られたものが非常に多くありますが、昭和57年から建築基準が変わったことで、それ以前に造った校舎が、耐震基準を満たしていない状況となっており、これが、日立市の耐震化率が低い背景となっています。

これまで、日立市では、改築や大規模改造など、学校の機能改善と合わせて耐震化を進めていくという考えがありましたが、東日本大震災以降、やはり耐震化を先行させる必要があるということで、現在、耐震補強を集中して進めているところです。

委員 市民から、自分の子どもが通っている学校は安全なのかというような問合せはありますか。

学校施設課長 そういう問合せはなかったと思います。

今ある学校校舎については、耐震診断の結果、すぐに壊れるという状況ではないことが分かっています。また、耐震補強は、震度6強の地震があった際に、校舎が崩れず、中の空間を保つということを目的としていますので、全く壊れないというわけではありません。

委員 平成26年度は、2期B、C、3期A、Bの工期が重なる時期がありますが、業者などの問題はないのですか。

学校施設課長 工事数は多くありますが、特に3期Bの学校は、それほど耐震性が低いわけではないので、補強の量も少ないと思います。

今回の中小路小学校についても、建物外部の補強をするほどの耐震性の低さではありませんでしたし、今後、耐震補強を進めていく中で、そういった学校がいくつか出てくることを考えれば、工期も短くなりますし、補強の量も少ないので、多少工期が重なっても、対応できると想定しています。

委員 耐震補強は、どのくらいの期間効果があるのですか。

学校施設課長 新築よりは弱いですし、機能や設備の問題などもあり、はっきり

とした耐用年数は分かりませんが、40年以上は持つのではないかと
思います。

委員 3期Bまでの全ての工事が完了した場合、耐震化率はどの程度に
なりますか。

学校施設課長 想定では、87.4%となります。

(2) 学校施設非構造部材の耐震対策について

委員長 それでは次に、その他(2)について、学校施設課長から説明を
お願いします。

学校施設課長 学校施設非構造部材の耐震対策について、説明します。
避難所にもなる屋内運動場の天井等落下防止対策は、非構造部材
の耐震対策のポイントとなるもので、今年度、文部科学省が創設し
たモデル事業は、それを加速化させるためのものです。

事業の内容ですが、天井等落下防止対策の課題と対応策を整理し
た上で、試験的に工事を行い、技術的留意点の整理と工期短縮手法
を開発することを目的としたものです。

モデル事業の対象は、屋内運動場及び柔剣道場等の吊り天井、照
明器具、バスケットゴール等の落下防止対策となります。

事業は、8月1日付けで文部科学省と委託契約を結び、スタート
させたものです。当市においては、日高小学校の屋内運動場及び滑
川中学校の柔剣道場を対象に、天井等調査、対策検討、対策工事の
設計・積算を実施します。なお、日高小学校の屋内運動場につい
ては、実験的に対策工事まで実施します。

モデル事業では、天井等落下防止対策アドバイザーを含めた協議
会を設置し、検討していくこととされています。そのため、教育部
長を委員長として、関係各課長、学校長、アドバイザーで構成する
日上市学校施設非構造部材耐震化検討協議会を設置しました。

委託契約の締結について、委託経費は、工事試行費用を含め、約
1,800万円を予定しています。なお、これらの費用は、全額国の負
担となります。

スケジュールについてですが、協議会を進めていき、9月下旬に
は、対策の方向性等について、おおむね整理した上で、文部科学省
に中間報告を行う予定です。その後、12月上旬から、日高小学校
の屋内運動場の工事を試験的に進めていき、3月上旬には、施設の
特性を踏まえた対策手法の検討、実施留意点、効率的な対策手法等
などを整理して、最終報告する予定です。

今後の進め方についてです。日立市の天井等落下防止対策対象施設は、屋内運動場27施設、柔剣道場7施設あり、平成25年度中には、これらすべての施設の点検を完了させる予定です。そして、来年から再来年にかけては、点検結果を踏まえて、今回のモデル事業の成果を活用しながら、天井等落下防止対策の工事を進めていく予定です。

(3) 諏訪小学校校舎改築事業について

委員長 それでは次に、その他(3)について、学校施設課長から説明をお願いします。

学校施設課長 諏訪小学校校舎改築事業について、説明します。

諏訪小学校は、昭和44年、48年に建設された旧耐震基準の校舎4棟と、昭和57年に建設された新耐震基準の校舎1棟により構成されています。

学校施設整備計画では、コンクリートの強度が不足しており、校舎の配置が分散し機能的ではなく管理上も好ましくないことなどから、昭和44年、48年校舎4棟を改築することとしています。また、改築に併せ、昭和57年校舎は大規模改造を行います。

改築事業の推進についてですが、平成21年度に、改築に向けた耐力度調査を実施したところ、補助要件を満たしませんでした。平成25年度に入り、校舎建築からの経過年数が嵩んだことで、補助要件が満たされたことから、事業を進めることとしました。

事業を進めるにあたって、先ほど承認いただいた補正予算のとおり、設計プロポーザルを実施したいと考えています。その目的として、文部科学省の学校施設整備指針に基づき、必要な機能をコンパクトに収める設計能力や、コスト縮減・環境負荷軽減等の提案能力を測ることがあります。

委員 普通教室棟B、Cは、環境が劣悪なところですので、工事していただけるということで、安心しています。

委員 設計プロポーザルの中で、必要な機能をコンパクトに収めるということがありますが、保健室や職員室などを一箇所に集めるという理解でよろしいですか。

学校施設課長 子どもが減ってきており、学校の面積を減らすことを求められている状況ですので、特別教室のあり方や、多目的スペースのとり方など、いかに少ない面積で必要な機能を確保するかが問われます。

今回のプロポーザルでは、そういった能力を測ります。

(4) 除染の進捗状況について

委員長 それでは次に、その他(4)について、スポーツ振興課長から説明をお願いします。

スポーツ振興課長 除染については、平成24年度の工事により、国の基準を下回らなかった箇所がある施設について、今年度、工事を進めるにあたって、再度、放射線測定を行った結果を報告します。

測定対象である73施設、1,122箇所のうち、今年度7月、8月に再度測定を行った結果、国の基準を超えたのは、29施設、146箇所となりました。そのうち、教育委員会所管の施設は、スポーツ広場4施設、17箇所と、小・中学校、幼稚園5施設、14箇所となります。

除染の進め方についてですが、今回の測定結果が国の基準以上の箇所について、工事直前に改めて測定を行い、その結果が国の基準以上の箇所を対象に、基準を下回るまで、除染を実施していきます。

スケジュールについては、8月中旬以降に工事設計・発注を行って、8月下旬から12月末にかけて工事を実施する予定です。

委員 基準値以上といっても、それほど高いものではないようですし、高い場所といっても、局所的なものなのですか。

スポーツ振興課長 昨年度の測定で基準値を超えていた浜の宮広場は、面的に数値が高かった施設ですが、今回の測定結果では、基準値以下となっています。今回の計測で基準値以上となった施設は、面的に数値が高い施設がなく、全て局所的に数値が高いものでした。

(5) 学校プール開放事業の実施結果について

委員長 それでは次に、その他(5)について、スポーツ振興課長から説明をお願いします。

スポーツ振興課長 学校プール開放事業の実施結果について、報告します。

かねさわ市民プールの廃止及び久慈サンピア日立プールの休止に伴い、周辺地区に住む小学生の水泳に親しむ場を確保するため、小学校プールを開放しました。

対象者は、市内小学校に通学している全児童で、特に多賀・南部地区の小学校全児童には、チラシを配付して広報しました。

実施結果ですが、7月22日、月曜日から、8月1日、木曜日までの8日間で、計941人の参加がありました。

なお、7月下旬は気温が低かったため、7月23日に塙山小、7月24日に全校で、それぞれ実施を中止しました。

気温の低さが影響したものと思いますが、1日平均は、昨年と比べ少ない結果となっています。

委員 8月中も実施してほしいという声はありましたか。

スポーツ振興課長 チラシで開放期間を見て、そういうものだと思っているからなのかもしれませんが、そういった声は特にありませんでした。

(6) 地元企業による中学生対象のスポーツ講習会開催結果について

委員長 それでは次に、その他(6)について、スポーツ振興課長から説明をお願いします。

スポーツ振興課長 地元企業による中学生対象のスポーツ講習会開催結果について、報告します。

市内中学生のスポーツに関する意識や技術レベルの向上を図るため、全国トップレベルの技術を持つ地元企業チームの協力を得て、講習会を開催しました。

まず、野球講習会については、日立製作所野球部の協力をいただき、8月3日、土曜日に、日立市市民運動公園野球場で開催し、市内中学校12校の野球部員147人が参加しました。おおよそ3、4人に対して1人の指導者に付いていただき、きめ細やかな指導をしていただけたと感じています。

バスケットボール講習会については、日立金属バスケットボール部の協力をいただき、8月10日、土曜日に、日立金属日高体育館で開催し、市内中学校11校の女子バスケットボール部員21人が参加しました。ウォーミングアップ、ドリブル、体の使い方など、主に基本的な部分について指導していただきました。きめ細やかな指導をしたいという指導者側の意向で、参加人数を21人としましたが、参加者側からは、もう少し対象者数を増やしてほしいという声もありました。

野球、バスケットボールとも、講習会後に、指導者と顧問との話し合いを行いました。定例の事業として、今後も引き続き実施してほしいという意見が多かったため、定期的を開催していければと考えています。

委員 今後、他の競技でも実施を望む声があるかもしれませんが、ぜひ、広めていただければと思います。

(7) 全国・関東中学校大会等への出場者について

委員長 それでは次に、その他(7)について、指導課長から説明をお願いします。

指導課長 全国・関東中学校大会等への出場者について、報告します。
今年度、全国大会へは、滑川中学校陸上部が、女子400メートルリレーの部で出場しました。結果は、準決勝で7位となり、決勝進出はなりませんでしたが、健闘しました。
関東大会へは、12校が出場しました。なお、吹奏楽部については、9月に大会が実施されます。

委員 市役所にある垂幕は、どの大会に出場した場合に作るのですか。

スポーツ振興課長 基本的には、全国大会に出場した場合です。

委員 関東大会出場の場合にも、ぜひ広くPRしていただければと思います。

(8) その他

委員長 それでは、その他で、ほかにある方はいらっしゃいますでしょうか。

(特にありませんでした。)

(9) 次回の教育委員会の日程について

委員長 それでは、次回の教育委員会の日程について、総務課長からお願いします。

総務課長 平成25年9月27日、金曜日に、日立市教育プラザで午後3時から開会予定です。

5 閉 会 午後4時30分

委 員 長 それでは、以上をもちまして、教育委員会8月定例会を終了いたします。